夕凪所長のイベント投資100％パーセント

第24回

世界に冠たる「コバンザメ」

本場・米国でも十分通用

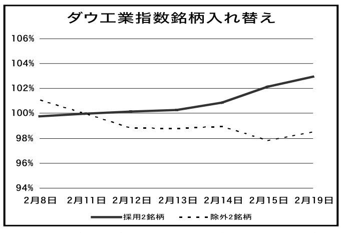
以前、本コラムにて、英国の代表的な株式指数であるFTSEを対象に、銘柄入れ替えによるコバンザメ投資（新規採用銘柄の株価が上昇し、除外銘柄の株価が下落する現象を狙う）が成り立つことを取り上げた。

そこでもし、株式投資の大リーグともいえる米国市場でもコバンザメ投資が通用するのであれば、世界中の株式市場でも通用するのは確定的といえる。それを確かめるためのベストな機会がやってきた。世界中で最も有名な株式指数といえる米国のニューヨークダウ（ダウ工業株30種指数）が、つい最近、銘柄入れ替えを行ったのである。

今年の2月11日に、2月15日の終値ベースで30銘柄中2銘柄の入れ替えを行うとの発表があった。実質わずか4営業日での入れ替えである。

掲載グラフは発表日の終値をベースに、新規採用2銘柄、除外2銘柄の終値の平均推移を表している。市場の影響を排除するためニューヨークダウと差分調整をしている。つまり、どれだけニューヨークダウをアウトパフォームしているかの値である。

NYダウ入れ替えが〝証明〟



わずか2銘柄の平均であるためサンプル数として信頼度は欠けるが、発表後から入れ替え日まで、新規採用銘柄の株価が上昇し、除外銘柄の株価が下落している様子が分かる。入れ替え日の値動きは、新規採用銘柄が高値引けに近い状態、除外銘柄が安値引けに近い状態で終了していた。

いずれの銘柄も、普段より1500万株程度多い出来高が発生しており、指数入れ替えによる売買が活発に行われていた形跡があった。これは日経平均の場合も同じで、普段より1200万株程度多い出来高が発生する（みなし額面50円の場合）。

これで英国に引き続き、米国でもコバンザメ投資が通用することが分かった。既に日本では各証券会社から詳細リポートが発行される程に有名である。そういった面でコバンザメ投資の研究が一番進んでいるのは、実は日本ではなかろうか。

イチローや松井秀のように、日本市場で通用する手法や実力を持った投資家が、米国市場でもどんどん活躍し、「日本人が世界で一番賢い投資家だ」と言われる日がぜひやってきてほしいものである。

夕凪所長　証券会社のプロも参考にしている人気サイト「ダントツ投資研究所」（http://www.geocities.jp/yuunagi_dan/）を主催。大手IT企業に勤めながら、相場に左右されにくい「イベント投資法」を次々と生み出している。研究所員は、きまぐれに出社し、イラストと入力の手伝いをする妻との2人であることは意外と知られていない。

「YUCASEE（ゆかし）」富裕層向けSNSが話題

アブラハム・グループ・ホールディングス

髙岡　壮一郎社長に聞く

会員限定の投資情報など提供

いま静かにベストセラーになっているのが「富裕層はなぜ、YUCASEE（ゆかし）に入るのか」。ゆかしは純金融資産1億円以上の富裕層を対象にしたインターネット上のプライベートクラブ。そこでは会員限定の投資情報が提供され、新世代富裕層同士が情報交換を行う。著者であり、ゆかしを運営するアブラハム・グループ・ホールディングスの高岡壮一郎社長に聞いた。

――ゆかしを立ち上げた経緯は。

「アブラハム・グループは富裕層向け投資情報サービスの提供や、富裕層向け商品を提供する企業に対するコンサルティングを行っている。そこで感じたのは、富裕層が欲しい情報はマス媒体からは得られないこと、そして彼らには同じ目線で本音を言える人と情報交換をしたいというニーズがあることだ。そこで会員限定のSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を2006年11月にスタートさせた」

――入会資格とメリットは。

「入会資格は純金融資産1億円以上の富裕層であることだが、入会には審査が必要。会員からの紹介が多い。入会のメリットは富裕層に特化した商品や投資情報が得られることだ。例えば大手旅行会社と富裕層向けの旅行プランを作ったり、富裕層向けビジネスを手掛ける欧州企業に日本市場向け商品の作成をアドバイスするなど、海外も含めた情報のプラットホームとしての役割も担っている」

「会員には定期的にアンケートを行っているが、85%の会員が1日に1回サイトを訪れている。会員を増やすとともに会員の満足度を高めることを目標にしている」

――会員はどのような人か。

「富裕層を分類すると、財産を受け継いだために富裕層になった人、そして自らの能力と努力によって財産を形成した結果、富裕層になった人の2種類ある。後者の例が、起業ブーム、投資ブームの波に乗って巨万の富を手にしたベンチャー経営者や個人投資家など。この新世代富裕層を私は『インテリッチ』（インテリジェンスとリッチを組み合わせたもの）と呼んでいる。1990年代後半以降の『知識社会』という時代背景の中を現役で生きている人たちだ。ゆかしの会員はそうした新世代の富裕層が中心で、経営者や医者、弁護士が多く、年齢は30－40歳台の比較的若い世代が多い」

――新世代富裕層の投資行動の特徴は。

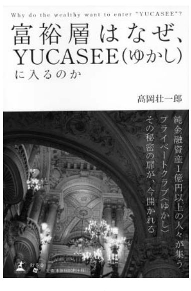
「リスク許容度が高い上、知識の水準も高い。証券会社や銀行では入手しにくいニッチな投資案件に対するニーズが高い。何度もセールスしにくる商品は売れない商品で、ありふれたものには投資しない。他人が買わないからこそ安い価格で買える。投資に限らず、ブームに流されない哲学を持っているのが特徴だ」

「新富裕層はしっかりとしたポートフォリオを作っているので今回の金融市場の混乱でも大きな動揺はない。円高で海外の不動産などに関心が向いている」

――個人投資家は株価下落にどう対応すればいいのか。

「4年周期でグローバルマネーは動いている。世界全体の人口が減らない限り、日本に二度とお金が戻ってこないということはない。配当利回りなどを見ると、経済合理性からは説明できない水準まで株価が下落している企業も多い。割安で成長力のある会社、伸びると思った会社を買うのも1つの選択肢だろう」

「ゆかし」とは…「おくゆかしい」の語源である「見たい、知りたい、会いに行きたい」という意味の古語。


Why do the wealthy want to enter "YUCASEE"?
富裕層はなぜ、YUCASEE（ゆかし）に入るのか
高岡壮一郎
純金融資産1億円以上の人々が集うプライベートクラブ〈ゆかし〉その秘密の扉が、今開かれる

読者5人にプレゼント

「富裕層はなぜ、YUCASEE（ゆかし）に入るのか」を5人にプレゼントします。はがきに住所、氏名、電話番号、日本証券新聞への意見・要望を明記の上、〒103－0016東京都中央区日本橋小網町16－6　日本証券新聞社営業局「本プレゼント係」まで応募ください。締め切りは4月2日の消印有効。商品の発送をもって当選者の発表に代えさせていただきます。個人情報はこのプレゼントのみに使用し、厳重に管理します。

名証 天眼鏡

中京圏の話題 from chukyo

クロスプラス

核事業強化などで成長図る

今週は婦人服卸大手のクロスプラス（3320・2部・百株）。

流通の中間に位置する卸売業は、地味なイメージを持たれがちで、株式市場での人気は低くなりがち。加えて、同社は2008年1月期に6億円強の経常損失を計上したこともあって、株価はジリジリ水準を切り下げている。

しかし、これは中国など海外から、直接仕入れる商品の為替変動リスクを回避するために実施した、通貨オプション契約（1億8000万ドル）の期末評価損19億円を営業外損失に計上したのが要因で、実質的な前期の経常利益は、13億円と10%程度の減益にとどまる。また、この評価損はキャッシュフローを伴わない損益計算上の勘定科目。会社側はこのあたりを、株価低迷の最大の原因と分析し「通貨オプション契約は、終了時（6年後）にはゼロになる性格のものなのに」（森文夫社長）としきりに残念がる。

今期が初年度の中期経営計画では、核事業である製造卸売を強化するとともに、傘下に抱える「ノーツ」などSPA（製造小売業）子会社群の育成と通販・ネットチャネルの拡大で成長を図る。最終年度の2011年1月期は経常利益35億円が目標。今期の経常利益も前期の実質的利益に対し24%増の16億円を見込む。評価を改めたい。

「シトラスノーツ六本木ヒルズ店」（東京）

北浜からの手紙

近畿圏の話題 from kinki

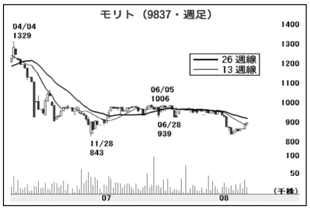
モリト

クラレとの提携効果に期待大

モリト（9837・大証2部）とクラレグループは資本業務提携をすることで合意した。

モリトはクラレから100%子会社クラレファスニング（KFS）の発行済み株式の30%を譲り受け、クラレはモリトの自己株式70万株を引き受ける。主に自動車産業向けをターゲットにしたKFS製の「面ファスナー（マジックテープ）」を通じて、より緊密な関係を築いていく。

モリトはハトメ、ホックをはじめとする服飾・産業資材（自動車関連含む）など幅広い分野の商材を扱う専門商社。エンブレムや車載ネットなどの納入実績から、自動車大手に太いパイプを持っている。業績けん引役ともいえる自動車関連の拡充を図りたいモリトと、販売ネットワークを強化したいKFSとの意向が一致。コア商材である面ファスナーの開発・生産・販売・流通の分野において、連携を深めていくだけでなく、高い技術力と幅広い素材を持つクラレグループとの連携で、新事業分野を開拓したい意向がある。



モリトは、提携効果を加味しての自動車・鉄道向け輸送機器関連の売上高を、3年かけて50億円に押し上げたい考え（現状約30億円）。KFSの年商は約50億円、今回の資本提携でモリトの持ち分法適用会社となる。

業績○、安心度◎、割安度◎！
株の底打ちシグナル217銘柄
突っ込み買いで儲かる株がズラリ！
●ダブルで高金利をゲットする技も！
FX、外貨預金、外貨MMF…
ネットの外貨投資でいまこそ大儲け！
●政府系ファンド、デカップリング、米大統領選…
株テーマで上がる20銘柄
●全42本の格付けに注目！
最高8％利回りのJ-REITは買い？
●国内金価格ついに3000円を大幅に突破！
金投資でトクする裏ワザ！
創刊2周年！2大特別付録
別冊付録36ページ
新ツール、携トレ、貸株…
ネット証券大自慢58連発！
袋とじ付録
資産倍増株㊙30銘柄！
大好評連載！
ヒロシ・マネー
●カッキ的なIR連載
久住昌之の社食体験ルポ！
月刊 日本初のインターネット専門マネー情報誌
ネットマネー
5月号 特別定価700円（税込）2008 MAY. NUMBER-031
NET M@NEY
廣済堂出版 KOSAIDO PUBLISHING
日本初のネット専門マネー月刊誌 www.netmoney-web.com

投信選びの奥義教えます
～投資信託の賢い買い方、儲け方～
投資信託に対する素朴な疑問、
このCDを聴けば答えがわかります。
お話し：投信評論家　鈴木 雅光
聞き手：経済キャスター　鈴木 ともみ
投資信託の専門家、鈴木雅光が「わかりにくい」投資信託を「わかりやすく」徹底解説。
元本割れの危険性はやっぱり高いの？ 株式よりお得な投資方法なの？ 任せっきりにしても大丈夫なの？ 証券会社は教えてくれない投資信託の裏バナシ・奥義を伝授します！
CD 60分 3,000円（税・送料込）
好評発売中！
★ お申し込み方法　お電話、FAX、郵便にてお申し込み下さい。申し込みの際は、お名前・ご住所・お電話番号をお知らせ下さい。ご注文受付後、約1週間以内に佐川急便の代金引換便でお届けいたします。商品到着時に現金にてお支払い下さい。
★ 商品に瑕疵の無い場合、開封後の返品は承りかねます。 ★ 当商品は投資の参考となる情報を提供するものであり、投資行為自体を勧誘するものではありません。投資の最終判断は、必ずご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
★ ご注文の際にいただいた個人情報は、弊社が責任を持って管理いたします。なお、商品発送のほかマーケティング目的のための統計資料、また弊社及びラジオNIKKEIの商品・サービスのご案内にも使わせていただくことを予めご了承下さい。
株式会社たんぱプランニング
〒107-8373 東京都港区赤坂1-9-15
TEL：03-3583-8300（日・祝を除く月～金 10:00～18:30）
FAX：03-3583-2601（24時間受付）